

橋梁における雨水排水対策手引き案 説明会

平成28年9月21日(水)
大阪合同庁舎第1号館
第一別館共用304会議室

■ プログラム

1. 開会挨拶 (目的, 第1章 総論含む) 13:05~13:30
大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 教授 奈良 敬
2. (第2章) 点検・調査 13:30~13:50
建設コンサルタンツ協会 澤田 幸治
3. (第3章) 鋼橋の損傷の概要と対策 13:50~14:20
日本橋梁建設協会 松野 正見
4. (第4章) コンクリート橋桁端部の損傷の概要と対策 14:20~14:50
プレストレスト・コンクリート建設業協会 西村 勝、杉田 篤彦
5. (第5章) 伸縮装置部の損傷の概要と対策 14:50~15:20
(第6章) 排水装置の損傷の概要と対策
日本道路ジョイント協会 山口 雅史
- 休憩 15:20~15:35
6. (第7章) 排水処理計画 15:35~15:55
建設コンサルタンツ協会 久野 恭弘
7. (第8章) 維持管理と応急対策 15:55~16:20
(第9章) 試験施工実施による技術提案の概要・損傷及び対策事例
建設コンサルタンツ協会 澤田 幸治
8. 新設橋梁について 16:20~16:50
災害科学研究所 石崎 茂
- 質疑応答 16:50~17:15
9. 閉会挨拶 17:15~
近畿地方整備局 道路保全企画官 松田 好生

産学官連携プロジェクト：新都市社会技術融合創造研究会

疲労亀裂調査の効率化に関する研究

研究成果報告会のご案内

アクセスマップ

主催：新都市社会技術融合創造研究会

「疲労亀裂調査の効率化に関する研究」プロジェクトチーム

(プロジェクトリーダー：関西大学 坂野昌弘)

日時：平成28年11月22日(火) 13:30～17:30

場所：大阪合同庁舎第1号館 第1別館 2階 大会議室

〒540-8586 大阪府中央区大手町1-5-44

地下鉄谷町線天満橋駅3番出口より徒歩2分

(合同庁舎第1号館横をまわり第1別館2階へお越し下さい)

参加費：無料

定員：150名



プログラム

13:30～13:40 開会の挨拶

新都市社会技術融合創造研究会 委員長 大西 有三 (関西大学 客員教授)

13:40～14:10 近畿の道路橋の現状と課題 近畿地方整備局道路部 道路保全企画官 松田 好生

14:10～14:30 疲労亀裂調査の効率化に関する研究概要報告

関西大学 環境都市工学部 教授 坂野 昌弘

14:30～14:50 横桁フランジ貫通構造とその問題点について

日本橋梁建設協会 設計小委員会 小西 日出幸

14:50～15:20 過流探傷を用いた疲労き裂調査の効率化の試み

日本非破壊検査工業会 Luiza H. Ichinose

15:20～15:40 疲労き裂に対する赤外線サーモグラフィの試行

神戸大学大学院 工学研究科 教授 阪上 隆英

15:40～15:50 (休憩)

15:50～16:10 有限要素解析による予防保全対策効果の検討

京都大学 助教 松本理佐 / 東京大学 講師 柴沼 一樹

16:10～16:40 疲労き裂に対する予防および事後保全対策効果の実験的検討

関西大学 吉田直人 / 岡田 康暉 / 坂本 千洋

16:40～17:10 実橋での試験施工と応力計測による予防保全対策効果の検証

日本非破壊検査工業会 Luiza H. Ichinose

17:10～17:20 疲労亀裂調査の効率化と予防および事後保全対策に関する提案

関西大学 環境都市工学部 教授 坂野 昌弘

17:20～17:30 閉会の挨拶

新都市社会技術融合創造研究会 副委員長 東川 直正 (近畿地方整備局 道路部長)

※プログラムの内容(発表タイトル・発表者等)は一部変更する場合がございます。

当日の資料配付は行いませんので、下記URLよりダウンロードのうえ資料をご持参下さい。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/road/shintoshikenkyukai/> (11月上旬公表予定)

申込方法：参加ご希望の方は、申込代表者、参加者氏名(フリガナ)、所属、E-mailを明記のうえ下記のE-mailアドレスへお申込み下さい。奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

申込先：新都市研究会事務局 E-mail：ls-gijyu02@kkr.mlit.go.jp (注：最初は小文字のLです)

申込期限：平成28年11月15日(火) 17:00

その他：本報告会では、(一社)全国土木施工管理技士会連合会のCPDSが4ユニット発行されます。証明書が必要な方は申込み時にその旨お知らせください。